

令和6年度第2回宮古構想区域医療構想調整会議(書面会議)議事等とりまとめ結果

1 協議事項

- (1) 地域医療構想における具体的対応方針について
承認(17名回答/委員18名中)
- (2) 岩手県立病院の経営計画(2025-2030)について
承認(17名回答/委員18名中)
- (3) 宮古保健医療圏における岩手県保健医療計画の進捗評価について
承認(17名回答/委員18名中)

2 協議事項等に係る意見等について

- (1) 地域医療構想における具体的対応方針について
 - ・ 資料1-4 各医療機関の令和6年度(直近)のデータも教えていただきたい。各医療機関の医師数もデータとしてあれば参考になります。
(山田町健康こども課 濱登委員)

(回答)

各医療機関の令和6年度(直近)のデータ、医師数については、別紙のとおり。

- ・ 今後も圏域内の必要病床数を維持してください。
(日本ハウスホールディングス健康保険組合 宮本委員)

(回答)

引き続き圏域内の必要病床数を維持していくとともに、病床の機能分化と連携に取り組んでまいります。

- (2) 岩手県立病院の経営計画(2025-2030)について

- ・ 高齢化がさらに進み、高齢者の入院患者が増加し、治療が終わっても行き先が決まらない患者が増えている。その高齢者の多くは介護と医療を要するため、看護師の負担が増加し、いろいろな業務に支障が出ている。県立病院は赤字が進み、経営改善に大きな力を注ぎ、看護体制もぎりぎりの人数で回そうとしている。看護師をはじめとする医療スタッフの負担は、今の人数では賄いきれず、インシデントが多く発生するようになっている。また、高齢者は急変することもあるため、夜間の急変時、対応が遅れる場合もある。高齢者に対する対応を考えないと、スタッフは疲弊し、精神疾患にかかったり、休職する人が増える懸念がある。(岩手県立宮古病院 川村委員)

(回答)

頂いたご意見については、関係機関に情報提供済です。

(3) その他意見・質問等

少子高齢化による人口減少により宮古地域でもこの調整会議の資料から多くの医療問題を抱えていることが理解できます。地域の特性を踏まえて多職種間での連携をより深め医療スタッフの負担を軽減し医療崩壊を防ぐ手立てが早急に必要と改めて思います。（宮古歯科医師会 昆委員）

（回答）

貴重な御意見ありがとうございます。今後、医療と介護による連携や在宅医療の充実に向けた取り組みについて協議する宮古地域医療介護連携調整会議を開催する予定です。